

患者さん・ご家族様へ臨床研究のご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

ICUにおける新規褥瘡発生と生理学的指標の時系列的変動の関連： 後ろ向きコホート研究

1. 対象となる患者さん

2019年5月1日～2025年4月30日の間に治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 看護部 創傷相談室 西林 直子

3. 研究の目的と意義

本研究では、集中治療室（ICU）に入院された患者さんの「呼吸の状態」や「血圧・脈拍」などの体の状態の変化と、「褥瘡（じょくそう）」ができるかどうかの関係を調べます。

これにより、褥瘡ができやすい体の状態を早めに見つけられるようになり、将来の予防やケアに役立てることを目指しています。

※ 褥瘡（じょくそう）とは、寝たきりや長時間同じ姿勢でいることにより、体の一部が圧迫されて血流が悪くなり、皮膚やその下の組織が赤くなったり、ただれたり、傷になったりする状態のことです。また、酸素マスクや点滴のチューブなど、治療に必要な医療機器が皮膚を圧迫することでも褥瘡ができることがあります。

4. 研究の方法

この研究では、過去に集中治療室（ICU）に入院された患者さんの診療記録をもとに、体の状態（呼吸や血圧など）と褥瘡の有無を調べます。

5. 使用する情報

患者さんの以下の情報を使用します。

- 年齢、性別、身長、体重、入院病名、既往歴、ICU 滞在日数、入院日数
- 褥瘡の発生有無、発生日、重症度、発生部位
- ICU 在室中の血圧・心拍数・呼吸数・体温・血液検査の結果・酸素の取り込み具合・尿量などの体の状態に関する記録
- 使用した薬剤や栄養の種類と投与量、栄養状態、安静度
- 実施していた褥瘡対策の内容（リスクアセスメントや皮膚の観察）
- 体の向きを換えた頻度、使用されていたマットレスの種類

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究用のID番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 看護部 創傷相談室 西林 直子

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：nknishi@naramed-u.ac.jp